

OKAYAMA ASAHI Senior High School



2026

“自主自律”を重んじ、自由を尊重する態度の育成

“自重互敬”の精神と、教養豊かで品性の立派な人物の育成

“のびのびときまりよく” 生活し、集中・継続・協力して学び続ける人物の育成

1 | 育てたい生徒像

GRADUATION POLICY

高い志を持ち、自ら成すべきことを考え、主体的にリーダーシップを発揮して新たな社会を創造し、牽引する力を持つ生徒

品格を備え、思いやりを持って他者を敬うとともに、何事にも積極的に取り組み、周囲と協力して課題を解決し、未来を開拓する力を持つ生徒

確かな読解力に基づいた柔軟な思考力と表現力を備え、高いレベルの知識と幅広い教養の獲得を目指して、主体的に学習に取り組む力を持つ生徒

2 | 学びの内容・方法

CURRICULUM POLICY

知的刺激にあふれた深みのある授業や個別指導・添削指導により、質の高い学習を進めます

世界の最先端で活躍する卒業生の講演会など、「本物に触れる」刺激を受けて、「大学の向こう側の社会」へ高い志を持って向かうための取組を実施します

学業と部活動の両立を勧め、富士登山・文芸作品コンクールなどの校内伝統行事、国際科学オリンピック等のハイレベルな大会やケンブリッジ大学・姉妹校交流、先端的な学問・芸術に触れる講座などへの参加など、リーダーシップや社会性を育成する取組を実施します



AIG高校生外交官プログラム

日本代表として本校生徒が選ばれ、アメリカでの活動に参加しました。

「先生方の熱心な指導とESS部での英語ディベート活動が実を結び、HSDプログラムの選考を突破しました。渡米中はUVAで米国の高校生と様々な活動を共にし、政治や経済、歴史を肌で学びました。多角的な視野を養い、生涯の友人を得られた貴重な体験でした。」(参加生徒より)

3 | 求める生徒像

ADMISSION POLICY

基本的な生活習慣・学習習慣が身に付いている生徒

学習意欲があり、自ら進んで学んでいこうとする姿勢を持ち続けられる生徒

生徒会活動・部活動等に熱心に取り組んだ経験があり、入学後も様々な活動に積極的に取り組んでいこうとする意欲のある生徒

沿革

- 1874 (明治7) 年 温知学校の予科に教員志望ではない生徒が員外生として入学が認められたことをもって本校の創立とする
- 1879 (明治12) 年 岡山中学校となり師範学校から独立
- 1886 (明治19) 年 岡山県尋常中学校と改称
- 1896 (明治29) 年 岡山城本丸内に校舎新築・移転
- 1921 (大正10) 年 岡山県第一岡山中学校と改称
- 1936 (昭和11) 年 岡山県第二岡山高等女学校創設
- 1948 (昭和23) 年 上記2校新制高校となる
- 1949 (昭和24) 年 上記2校統合 岡山県立岡山朝日高等学校となる
- 1953 (昭和28) 年 旧制第六高等学校跡に全校生徒を統合
- 2024 (令和6) 年 創立150周年



朝日高校の校内・施設を360°パノラマで見ることができます。

本校は、「なすべきことを自ら考え、自らを厳しく律し、それに基づく自由を尊重する態度の養成」を教育の基本としています。広い視野と豊かな教養を身につけ「世界」に貢献する生徒を育成することが目標です。生徒諸君には、自分自身の適性を見つめ、高い志を抱いて主体的に勉強してほしいと願っています。



1年生 進路教養講座
東京大学名誉教授 斎藤兆史氏
英語学習を通じて、学問の魅力について考える講演会でした。(写真は講演後座談会の様子)



2年生 修学旅行
東京大学の各研究室、JAXA、JAMSTEC、宮内庁書陵部などを訪れ、貴重な資料を直に見ることができます。(写真は東京大学史料編纂所)



文学の集い
小説家小川洋子氏、俳人岩田由美氏、歌人大森静佳氏をお招きし、座談会を行いました。



2年生 医学部ガイダンス
医学部を目指す生徒が、医師として持つべき姿勢や資質、医療現場の様子を本校卒業生の医師からうかがいました。



2年生 キャリア教育講演会
昨年度は、医師、新聞記者、理工学研究者、県庁職員、証券会社員等、各分野で活躍する卒業生からお話をうかがいました。



イギリス グローバルリーダー育成研修
ケンブリッジ大学を舞台に現地の大学生や大学院生と交流する中で、グローバルマインドやコミュニケーションスキルを学び、将来のキャリアについて深く考えました。

創立記念講演会

最初の講演者は、原子物理学者 仁科芳雄博士でした。(創立75周年)
毎年、創立記念式典にあわせて、各界で活躍している本校卒業生を招聘し、講演会を行っています。

講演年度	周年	演題	講演者	卒業年度	
H4	創立118周年	「映画を作りながら考えたこと」	高畑勲氏	昭和29卒	映画監督
H10	創立124周年	「変化の時代に生きる」	板東久美子氏	昭和48卒	消費者庁長官
H25	創立139周年	「岡山に恋しよう!」	木村正明氏	昭和60卒	ファジアーノ岡山スポーツクラブ代表取締役
H26	創立140周年	「岡山から、世界に羽ばたけ!」	宮原耕治氏	昭和39卒	日本郵船(株)代表取締役会長
H27	創立141周年	「裁判・裁判官について」	竹崎博允氏	昭和38卒	第17代最高裁判所長官
H31	創立145周年	「千年は長いか?」	榎原雅治氏	昭和51卒	東京大学史料編纂所所長
R6	創立150周年	「時をつなぎ未来を拓く」	山海嘉之氏	昭和53卒	CYBERDYNE(株)代表取締役社長/CEO 内閣府SIPプログラムディレクター



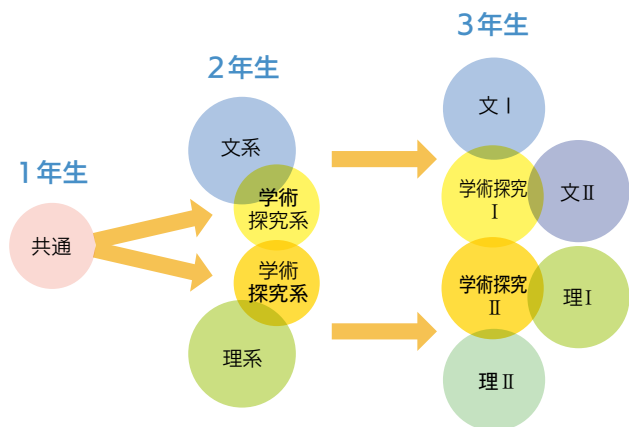
創立151周年記念講演会の様子
(於:岡山芸術創造劇場ハレノワ)
「情報社会を生きる」
川上高志氏(昭和53卒)



講演会後に行われた座談会では、次々と挙手があり活発に質問が飛び交いました。



岡山朝日文芸作品コンクール
創立122周年記念として、薄田泣菫、内田百閒、小川洋子各氏をはじめとする、朝日高校出身の文学者特別展が開催されたのを契機に創設された校内コンクールです。創作文学、書、絵画作品を募集しており、創立記念講演会に先立って講評、表彰式をおこなっています。



文I: 大学入試で地理歴史を2科目必要とする大学への進学を希望する人、また地理歴史に強い興味関心のある人に適しています。

文II: 大学入試で地理歴史1科目と公民1科目を必要とする大学への進学を希望する人に適しています。

学術探究I・II: 科学・グローバル・芸術・体育など、各自の興味関心に応じて、より高度な内容を主体的に計画し、学習・実践します。その活動をさらに深く研究することができる大学への進学を目指します。

理I: 理学・工学・医学・薬学・農学などの理系分野への進学を希望する人に適しています。

理II: 数学や理科の一部を選択科目とし、進路に応じて重点的に学習することができます。

どの系も、大学入試に対応するための勉強に留まらず、学問の本質に迫る、深く内容を突き詰めていく授業が行われます。生徒同士、互いに刺激しあいながら知的スリルを味わい、新たな知識を身につけることで、学問に対するより深い探究心やさらなる知識欲が生まれます。

文系



在校生 2年 大原 有莉乃 (岡山市立京山中学校出身)

朝日高校の授業は、「なぜそうなるのか」を突き詰め、物事の本質を考える面白さに溢れています。私は、授業進度の速さに入学前は不安がありましたが、「質問教室」など先生方の手厚いサポートのおかげで、その不安は次第に「もっと深く知りたい」という好奇心へと変わっていきました。

朝日高校には、日々の学びの枠を超えて視野を広げられる環境があります。「難関大ガイダンス」では、卒業生の先輩方のお話を通して、大学進学の見据えたキャリアについて考えることができます。希望者向けの「イギリス研修」では、現地の大学施設を使いながら、言葉や文化の違いを超えて学ぶ貴重な経験もできます。

さらに私は、全国から約30名の高校生が選ばれる「Stanford e-Japan」※に参加し、日米関係について英語で学びました。朝日高校での学びを生かして活動に取り組み、最終発表では最優秀賞を頂きました。現在、人や社会の仕組みに関心があるので、文系を選択しています。将来は誰もが安心して暮らせる社会保障制度の設計に携わりたいと考えています。

朝日高校は、温かな仲間と熱心に支えてくださる先生方に囲まれた素晴らしい高校です。みなさんもこの環境を最大限に活用し、自分の将来設計に役立ててください。

※Stanford e-Japanとは、アメリカスタンフォード大学が日本の高校生を対象に行っている、全編英語の教育プログラムです。約5カ月間、歴史、経済、文化等について専門家から学び、最後に論文とプレゼンテーションにより優秀者が表彰されます。

視野を広げるガイダンス

(すべての系に対応しています)



難関大ガイダンス

卒業生から、大学での研究内容や受験に向けての具体的なアドバイスを聞くことができます。



1年時に行われる類型選択ガイダンス卒業生からそれぞれの選択理由や、その先の大学での研究等にどのようにつながるのかを聞くことができます。

進路実績

近年の主な大学合格状況

国公立大学		令和6年	令和7年	令和8年
東京	京大	11	21	15
京都	大	3	14	14
岡山	大	46	49	49
大阪	大	17	33	25
神戸	大	14	14	16
九州	大	8	16	14
北海道	大	2	3	6
東北	大	2	2	0
筑波	大	2	3	1
お茶の水女子	大	1	2	2
東京外国語	大	2	3	1
一橋	大	1	2	1
東京科学	大	1	3	2
名古屋	大	3	2	1
医学科計	大	29	33	22
国公立大合計		238	277	250

私立大学		令和6年	令和7年	令和8年
早稲田	大	20	19	28
慶応義塾	大	8	8	17
上智	大	1	10	9
中央	大	9	9	9
法政	大	11	8	3
青山学院	大	9	5	4
東京理	大	6	11	9
明治	大	13	29	22
同志社	大	76	113	72
立命館	大	62	88	74
関西西	大	22	25	21
関西学	大	50	72	40
近畿	大	40	21	40
ノートルダム清心女子	大	24	21	18
就実	大	28	18	29
私立大合計		538	577	508

理系



在校生 2年 金安 孝志郎
(岡山市立桑田中学校出身)

朝日高校で学んでいて感じる最大の魅力は、学習面でも人間的な面でも大きく成長することができる環境に恵まれていることです。朝日高校には、自分にはない強みを持つ人がたくさんいます。そのような環境のもとで互いに競い合い、同時に支え合うことができる場所は多くはないと思います。

また、朝日高校の授業は先生方が無駄のないように時間をかけて工夫されており、一つひとつがとても濃密です。特に理系科目の授業では、単に知識を覚えるだけでなく、原理や仕組みから考える場面が多くあります。例えば化学の授業では生徒同士が話し合い共通の疑問を洗い出したうえで解説を聞くため、理解が深まりやすいと感じています。

他科目に関しても、授業後に疑問点を質問したり個別に添削をお願いしたりすると、先生方は熱心に対応してくださいます。だからこそ、文系・理系を問わずどの授業も大切にすることが、朝日の環境を活かすうえで、また自分の進路実現のうえでも大事だと思います。

高校での学習やその先の進路に関して不安を抱いている人もいますが、中学校で日々の授業を大切に、わからないことを一つずつ理解していくことが高校での学びにもつながると考えて頑張ってみてください。

卒業生 出射 有紀子

(岡山大学教育学部附属中学校出身、平成23年岡山朝日卒業、東京大学卒業、三菱地所)

私は現在、三菱地所で不動産開発やまちづくりの仕事に携わっています。まちの歴史や文脈を尊重しながら、そこに住む人・訪れる人の10年、50年、100年後を想像して計画を立てることは簡単ではありませんが、とても刺激でワクワクする仕事です。日々の業務は地道で泥臭いことも多いですが、朝日高校での経験が自信となり、粘り強く取り組めていると感じています。部活や文化祭、受験勉強と、何事も全力でやり抜ける環境が整っているのが朝日高校の魅力です。「50.1対49.9で自分に打ち克たないといけませんよ」という先生の言葉を胸に、4年目も補習科で努力を重ね、志望校に合格できたことで、進学後の視野も大きく広がりました。朝日高校は、挑戦と成長を支えてくれる場所です。ぜひ思いきり挑戦してください。



学術探究系



在校生 3年 松永 啓暉 (岡山市立操南中学校出身)

学術探究系は、朝日高校ならではの恵まれた環境を活かし、自らの興味関心を深く追究できるコースです。この学術探究系では、特定の課題や成果が義務づけられることがないため、「やりたいことがまだはっきりしていない」という人でも安心して取り組むことができます。むしろ、さまざまな分野に触れる経験を通して、自分の興味や進路を見つけていくことができる点が大きな魅力です。学術探究系に入ると、外部の専門家による講義を受ける機会があります。また、夏休みには希望者対象の研修旅行があり、最先端の研究に直接触れることができます。

私はESS部に入っており、英語ディベートをするため様々な分野についての知見を得たいと思い、学術探究系に入りました。ディベート大会では、日本の政治が議題にあげられることが多いですが、部活動では単に国政について議論するだけではなく、人の生き方や国際問題、時には芸術についても議論することがあります。そのため学術探究系で学んだことはとても役に立ち、私は部の仲間とともに全国大会に出場することができました。

何か探究したいことがある人も、今はまだない人も、ぜひ学術探究系に入ることを考えてみてください。朝日高校の先生は、豊富な経験と高い専門性、そして限りない熱意を備えており、全力で生徒をサポートしてくれます。この学校では、「やりたい」「知りたい」という気持ちを形にすることができます。

2年生学術探究系つくば研修

筑波大学サイバニクス研究センターでの研修、地図と測量の記念館、JAXA等を見学しました。



1日の時程

8:30~ 9:25	1限
9:35~10:30	2限
10:40~11:35	3限
11:45~12:40	4限
昼休憩	
13:30~14:25	5限
14:35~15:30	6限
15:40~16:35	7限
放課後	

知的好奇心を涵養する55分授業。毎時間、一步先へ、深い内容へ、踏み込んでいくことができます。

知識と芸術の源泉

蔵書数約8万冊の独立した図書館



- ・小川洋子氏、小手鞠るい氏など、卒業生の著作コーナーを設置。
- ・本校ゆかりの画家、書家の作品を多数展示。



- ・間香や俳句など、種々の図書館教養講座を開催しています。(写真は「間香」の体験)



1日 ホームルーム



朝日祭（開会式 書道部揮毫）



朝日祭（文化祭 弁論大会）



朝日祭（体育祭 3年生仮装行列）



球技大会



1年生 百人一首大会

入学式

4

新入生歓迎会
部活動紹介
生徒総会

中間考査

5

1日ホームルーム
生徒会役員選挙

実力考査

6

期末考査

7

修学旅行
富士登山
オープンスクール

8

9

朝日祭

中間考査

10

実力考査
創立記念式典
創立記念講演会

11

武道ダンス発表会
読書会
朝日文芸作品コンクール

期末考査

12

球技大会
総探・情報合同発表会

実力考査

1

スキー教室
百人一首大会

学年末考査

2

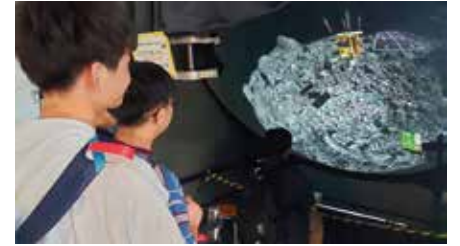
卒業式

3

イギリス
グローバルリーダー
育成研修



生徒会役員選挙



修学旅行（JAXA 相模原キャンパス訪問）



読書会



2年生 武道ダンス発表会



1年生 総探・情報合同発表会



1年生 スキー教室

在校生 3年 三浦 聡将 化学部 (岡山市立芳田中学校出身)

私は化学部に所属しています。化学部という名前ではありませんが、扱う分野は化学だけにとどまりません。情報、物理、工学など、科学に関わるさまざまなテーマについて、生徒1人ひとりが自主的に活動内容を決め、自由に探究しています。教科書で学ぶ知識を実際に目で見て、手を動かしながら理解できることも、大きな魅力の一つです。

私達の活動での大きな成果として、第15回科学の甲子園全国大会での優勝が挙げられます。科学の甲子園は、理科・数学・情報など幅広い科学分野の知識と応用力、そしてチームワークが求められる全国規模の大会です。大会に向けた準備では、知識だけでなく、仲間と協力しながら課題に取り組む力や、限られた時間の中で最善を尽くす力も求められます。競技内容について分析し、試行錯誤を繰り返したことや、部員同士で苦手分野を補い合えたことが、優勝の主な要因だと考えています。

このような活動で最も重要なものは、能力ではなく、積極性です。積極的に行動し、失敗を恐れずに挑戦することで、自分の新たな可能性に気付くことができます。岡山朝日高校では、興味を抱いたテーマに積極的に取り組む事ができる環境が整っており、夢や目標を追い求めたい人にとっては最適な場所だと思います。



第15回科学の甲子園 全国大会 会場 (つくば市) にて。

在校生 3年 小暮 結 文学部 (岡山市立岡山中央中学校出身)

私の所属する文学部は、俳句、短歌、詩、小説などの創作活動を行っています。俳句甲子園や短歌甲子園の全国大会にも出場しており、大会を通じた他校の生徒との交流から、新しい視点を発見するなど、作品作りの刺激を得ています。これらの大会の面白いところは、ただ作品を出すだけではなく、互いの作品について鑑賞し、ディベートを行うところです。作品の表現や言葉遣いなど、細部まで観察し合うことで批評力や表現力の向上にもつながります。

文学部では部誌も発行しています。今年は、岡山文学フェスティバルのフリーマーケットにも出店し部誌を販売しました。これは生徒の発案によるものです。生徒自身が活動内容を決め、新しいことに挑戦できる自由な気風も朝日高校の魅力のひとつです。

また、朝日高校では様々な分野で活躍されている卒業生の方々が講演に来てくださるため、将来の進路について幅広く知ることができますが、文学に関しては実際に活躍されている俳人・歌人・小説家の方々から創作についてのお話をうかがう機会がありました。

文学部ではこの他にも、リレー小説執筆、リモート句会、吟行など、多様な活動を行っています。私はもともと小説を書くことを目的に部活に入りましたが、俳句や短歌の大会に出たり、部誌を作ったり、様々な経験を積むことになりました。皆さんもぜひ、朝日高校で自分の「好き」の可能性を広げてください。



- <運動部> 野球 バレーボール 空手道 バasketボール 山岳 ラグビー 弓道 バドミントン テニス
陸上競技 剣道 ソフトテニス サッカー 卓球 柔道 ハンドボール
- <文化部> JRC 文学 吹奏楽 写真 新聞 書道 美術 茶道 ESS 音楽 囲碁将棋 物理 化学 管弦楽
ダンス 演劇 放送文化 歴史研究 生物 競技かるた クイズ研究
- <同好会> 水泳 クッキング ピアサポート 数学 ジャグリング

各部の活躍

令和7年度～ ★世界大会 ◎全国大会 ○中国地区大会

空手道部

- ◎令和7年度全国高等学校総合体育大会空手道競技
- ◎令和7年度第39回中国高等学校空手道選抜大会
- 令和7年度第41回中国高等学校空手道選手権大会

ラグビー部

- 第68回中国高等学校ラグビーフットボール大会

テニス部

- 第65回中国高等学校テニス選手権大会
- 第19回中国高校新人テニス大会
- 第3回西日本公立高等学校テニス大会

陸上競技部

- ◎令和7年度全国高等学校総合体育大会
- 陸上競技対校選手権大会
- ◎第79回国民スポーツ大会
- ◎令和7年度U16陸上競技選手権大会
- ◎第44回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会
- 第78回中国高等学校陸上競技対校選手権大会
- ◎第79回中国陸上競技選手権大会
- 第34回中国高等学校新人陸上競技選手権大会
- 男子第67回・女子第39回中国高等学校駅伝競走大会

剣道部

- 第71回中国高等学校剣道選手権大会

文学部

- ◎第49回全国高等学校総合文化祭文芸部門
- ◎第32回都留市ふれあい全国俳句大会
- ◎第15回牧水短歌甲子園
- ◎第40回全国高等学校文芸コンクール
- 俳句部門優秀賞
- ◎第12回小松ビジュアル俳句コンテスト
- ◎小林一茶199回忌全国俳句大会
- ◎第6回星の俳句コンテスト
- ◎第25回神奈川大学全国高校生俳句大賞
- 第28回高校生文芸道場中国ブロック大会

書道部

- ◎第30回全日本高等学校書道コンクール

囲碁将棋部

- 将棋
- ◎第49回全国高等学校総合文化祭将棋部門
- 囲碁
- ◎第49回文部科学大臣杯
- 全国高校囲碁選手権大会
- ◎第49回全国高等学校総合文化祭囲碁部門
- 第29回中国高等学校囲碁選手権大会

放送文化部

- 第11回中国地区放送コンテスト

化学部

- ★Science Olimpiad 2026
- ◎第15回科学の甲子園全国大会
- ◎高校化学グランドコンテスト最終選考会選抜

管弦楽部

- ◎第32回全国高等学校選抜オーケストラフェスタ

ダンス部

- ★American Dance National / International Championship 2026
- ◎全国高等学校ダンスドリル選手権大会 2025
- ◎Dance Drill Winter Cup2026
- 第17回全国高等学校ダンスドリル冬季大会
- 全国高等学校ダンスドリル選手権大会2025
- 中国・四国大会
- 令和7年度ダンスドリル秋季競技大会中国・四国大会

クイズ研究部

- ◎第45回全国高等学校クイズ選手権
- 高校生クイズ2025全国大会

水泳同好会

- 第73回中国高等学校選手権水泳競技大会

私は、高校入試の面接で「あなたにとって学びとは。」と問われました。その当時は苦し紛れに、「高校生活を通してその答えを見つけていきます。」と言うことしかできませんでした。入学してからも、私は自分の周りに深い深い霧が立ち込めているように感じていました。その先に何があるのかは全く予想もつきませんでしたが、立ち止まっても何にもなりません。鮮やかな景色が広がっていると信じて、その景色が見たくて、時に勉強が嫌になることがあってもひたすらもがいてきました。しかし、そうやって朝日で3年間学んでも、結局この問いに対する明確な答えを見つけることはできませんでした。そんな時、ある歌の歌詞が私の目にとまりました。「I may never find all the answers. I may never understand why. I may never prove what I know to be true. But I know that I still have to try.」これは、アメリカのバンド、DREAM THEATERの「The Spirit Carries On」という歌の一節です。全ての答えを見つけることはできないかもしれないし、理由を理解することも、真実だと思いを証明することもできないかもしれない。けれども、それでも求め続けたいといけない。「あなたにとって学びとは。」この答えもきっと、生涯を通じて求め続けていかなければならないものなのだと、私は思います。

以前の私は、自分ひとりだけでも生きていけると思い込んでいました。それは、自分の実力に対する過信や、他者に手助けされることへの恥ずかしさが原因だったように思えます。まるで、補助輪付き自転車を乗りこなす幼い子どものようでした。小さな補助輪がいかに自分にとって大きな存在であるかに気づかず、はやく補助輪を外したいと駄々をこねる子ども。後でそういう子どもは大抵、バランスを崩し、転んで擦りむくものです。私ももしかすると、他者の手助けという補助輪を無理やり取ることで、大怪我をするところだったのかもしれない。ただ、高校生活を通して、様々な個性や、能力を持った仲間と出会う中で、他者を助ける自分もいれば、他者に助けられる自分もいる、つまり、自己と他者は相補的な協力関係にあるということに気付かされました。これは、朝日で過ごした誰もが実感したことだろうと思います。他者の存在で、自転車は安定した自動車となり、私をより遠く、霧の向こうまで運んでいきます。ただ、ハンドルを握り、車の行き先を決めるのは他でもない、自分自身です。他者と力を合わせながら、自らの確固たる判断に基づき、自らの目標に向かって懸命に生きていく。このことを強く胸に刻んだ3年間でした。

(令和8年3月 卒業式「卒業生のことば」より)

授業公開
6月13日(土)
11月6日(金)

オープンスクール
7月22日(水)

学校説明会
10月10日(土)

岡山県立岡山朝日高等学校

〒703-8278 岡山県岡山市中区古京町 2-2-21
電話:086-272-1271 (代表)

